

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	022	生物多様性の保護と回復	
総合計画	基本目標 II	緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境）	主担当部課名 生活環境部 環境政策課
	基本施策 01	緑と生きものを育むまちづくりの推進	
めざす姿	自然と人間が調和し、生物多様性による日々の恵みを受け続けることができる、自然と共生した社会の実現のためには、生き物とその生息環境を守る行動を起こさなければならないことを全ての市民が理解し、環境保全に係る取組を行っています。		
SDGsとの関連			

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	12,906,000	11,710,000	12,228,000	12,003,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	425,000	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	306,000	827,000	870,000	356,000		
一般財源	12,175,000	10,883,000	11,358,000	11,647,000		
予算現額	12,906,000	11,710,000	12,228,000	0		
決算額	10,714,928	10,859,564	10,680,763	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	235,800	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	1,056,476	921,500	721,500	0		
一般財源	9,422,652	9,938,064	9,959,263	0		
執行率	83.0	92.7	87.3	0.0		
(人件費)						
職員数	2.96	4.53	4.53	0.00		
職員人件費	23,191,029	36,597,077	36,144,829	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	215,699	518,835	611,703	0		
総コスト	34,121,656	47,975,476	47,437,295	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 生物多様性の意味を知っている市民の割合	33.7	実績	51	49.1	-	-	37
	%	達成率	137.8	132.7	0.0	0.0	
② 小中学生に対する自然環境教育の実施件数	14	実績	12	11	-	-	20
	回	達成率	60.0	55.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	2022年に生物多様性の保全と利用に関する新たな世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組み」が採択され、国や都においても新たな生物多様性戦略が策定されるなど、生物多様性に関する取組は急速に加速してきており、市民理解も急速に普及し始めている現状にある。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	国においては「昆明・モントリオール生物多様性枠組み」をふまえた「生物多様性国家戦略2023-2030」を策定。東京都においても令和5年4月「東京都生物多様性地域戦略」策定した。	社会における環境意識の普及に比例し、市民の生物多様性に関する認知も進んでいると思われる。天候や河川の状況により一部事業が実施できなかったことにより実施回数が目標に達しなかった。	
市民ニーズ	生物多様性は市民一人一人の生活に直結する問題でありながら、市民の認知は低調であったが、近年はメディアなど、持続可能な社会の実現の一側面として、生物多様性が取り上げられる機会も増えてきたことにより市民の認知は進みつつある。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	生物多様性地域戦略推進事業		主担当部課名	生活環境部 環境政策課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① アライグマ・ハクビシン捕獲駆除件数	22	計画値	24	26	28	30	30	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	28	13	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		市民へのパネル展示やホームページなどで周知したことにより、捕獲器の設置数が大幅に増加したものの、捕獲数は減少し目標に達しなかった。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称	自然環境保全活動促進事業		主担当部課名	生活環境部 環境政策課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 小中学生に対する自然環境教育の実施件数	14	計画値	14	16	18	20	20	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	12	11	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		小学校の総合的な学習の時間の支援依頼が想定より少なかった。天候や河川の状況により一部事業が実施できなかったことにより実施回数が目標に達しなかった。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8	
								<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	自然体験イベント、講演会、環境教育事業などを通じて、市民が生物や自然環境に関心を持ち、生物多様性の問題に対して認識を深める機会を提供することができた。	自然体験イベント、講演会、環境教育事業などを通じて、市民が生物や自然環境に関心を持ち、生物多様性の問題に対して認識を深める機会を提供することができた。		
今後の展開	取組の内容をブラッシュアップし、より多くの市民に働きかけていく事業を展開する。	イベント内容を見直し、魅力ある事業を検討していく。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
多岐にわたる生物多様性に係る活動の実施や、活動団体における次世代の担い手の育成に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
生物・生態系の調査、生物の生育・生息環境の保全、外来生物の防除など、地域の生物多様性保全の推進に係る事業全般について、市民や市民団体、事業者等との協働により、市や一部の市民団体等のみによる取組では困難な市内全域を対象とした連続的な取組の展開や、より効果的、効率的な手法の導入を図りたい。また、世代を超えて生物多様性の保全を持続していくため、取組をリードする人材の発掘、育成についても、環境保全団体や大学等の教育・研究機関など多様な主体との連携により推進していきたい。	令和5年度を期とする「第3次府中市環境基本計画」の中に「第2次府中市生物多様性地域戦略」が包含され、計画に基づき生物多様性保全の推進を図る。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
市内における動植物等調査、保全活動について、市民や各団体、また大学等との協働により実施した。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	生物多様性保全にむけて、効果的な事業取組や周知方法を検討する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	023	公園緑地等の活用促進
総合計画	基本目標 II 基本施策 01	緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境） 緑と生きものを育むまちづくりの推進
めざす姿	多様なニーズに対応した公園が安心・安全に利用できる環境が整っており、様々な主体が協働しながら緑のまちづくりに取り組んでいます。	
SDGsとの関連	 	

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	1,206,197,000	1,409,430,000	1,414,669,000	1,334,883,000		
国庫支出金	9,900,000	26,000,000	32,000,000	17,000,000		
都支出金	26,000,000	24,000,000	24,905,000	41,968,000		
市債	0	0	0	0		
その他	219,486,000	382,807,000	352,371,000	201,736,000		
一般財源	950,811,000	976,623,000	1,005,393,000	1,074,179,000		
予算現額	1,141,945,000	1,432,682,000	1,382,214,000	0		
決算額	1,126,522,416	1,385,232,227	1,339,948,766	0		
国庫支出金	10,000,000	26,000,000	29,500,000	0		
都支出金	37,785,000	17,365,000	29,990,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	204,922,276	336,684,345	327,645,100	0		
一般財源	873,815,140	1,005,182,882	952,813,666	0		
執行率	98.6	96.7	96.9	0.0		
(人件費)						
職員数	16.70	13.00	14.00	0.00		
職員人件費	130,841,277	105,024,725	111,705,874	0		
月額制会計年度任用職員数	2.00	3.00	3.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	6,497,384	9,713,325	9,674,166	0		
(間接経費)						
間接経費	4,476,219	3,178,587	3,319,738	0		
総コスト	1,268,337,296	1,503,148,864	1,464,648,544	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	68.9 %	実績 70.4 達成率 93.7	68 90.5	- 0.0	- 0.0	75.1
② インフラ管理ボランティアの長期登録者数	38 団体	実績 65 達成率 141.3	79 171.7	- 0.0	- 0.0	46
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	公園を取り巻く社会や市民意識の変化が進み、公園に求められる役割とサービスが多様化する中で、公園の整備と維持管理にも増して、市民・事業者のニーズを考慮した公園の利活用を進めることが必要となってきた。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	都では、緑確保の総合的な方針において、施策の推進に当たっては、都民、NPO、企業等と連携し、緑を地域の資産として将来に引き継いでいくことを目指して取り組むこととしています。	インフラ管理ボランティア制度をより使いやすいように見直したことにより、登録者数が着実に増加している。	
市民ニーズ	公園での花壇管理などのニーズは多い。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	公園緑地等維持管理事業		担当部課名	都市整備部 公園緑地課				事業種別	主要な事務事業								
次年度における事業の位置づけ									B				1				
指標名	基準値 (単位)	事業推移	計画値	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)	要因の種類(※)								
				1	2	3	4		5	6	7	8					
① 公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	68.9	計画値	67.7	70.1	72.6	75.1	75.1										
	%	実績	70.4	68	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		令和5年度総合計画に関する市民意識調査において評価されたため。															
② インフラ管理ボランティアの長期登録者数	38	計画値	42	44	45	46	46										
	団体	実績	65	79	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		制度をより使いやすいたくに見直したことにより、登録者数が増加している。															
事務事業名称	公園緑地等整備事業		担当部課名	都市整備部 公園緑地課				事業種別	主要な事務事業								
次年度における事業の位置づけ									B				1				
指標名	基準値 (単位)	事業推移	計画値	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)	要因の種類(※)								
				1	2	3	4		5	6	7	8					
① 市民一人あたりの都市公園面積	6.93	計画値	6.94	6.95	6.96	6.97	6.97										
	m ²	実績	6.93	6.95	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		市立公園が増加したため。															
		計画値							要因の種類(※)								
									1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									要因の具体的内容								
事務事業名称			担当部課名					事業種別									
次年度における事業の位置づけ																	
指標名	基準値 (単位)	事業推移	計画値	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)	要因の種類(※)								
				1	2	3	4		5	6	7	8					
		計画値							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
										実績							
要因の具体的内容																	
		計画値							要因の種類(※)								
									1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									要因の具体的内容								

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	公園・緑地等の適切な維持管理を行った。また、指定管理者制度の導入のため、事業者を決定した。インフラ管理ボランティア制度の推進や、市民協働事業であるコミュニティガーデン講座の実施を通じて、市民との協働による公園管理を進めた。安心・安全な公園づくりとして、公園・緑道等の整備を行った。また、公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行った。	公園・緑地等の適切な維持管理を行ったほか、公園施設長寿命化計画に基づいて遊具等の更新を行った。また、指定管理者制度の初年度の運用を適切に行った。このほか、インフラ管理ボランティア制度を推進し、市民協働事業として始まったコミュニティガーデン講座を市の事業としても開始し、市民との協働による公園管理を進めた。		
今後の展開	公園・緑地等の適切な維持管理を行う。また、指定管理者制度の適切な運用を進める。インフラ管理ボランティア制度の推進や、市民協働事業であるコミュニティガーデン講座の実施を通じて、市民との協働による公園管理を進める。安心・安全な公園づくりとして、公園・緑道等の整備を行う。また、公園施設長寿命化計画に基づき遊具等の更新を行う。	公園・緑地等の適切な維持管理を行い、公園施設長寿命化計画に基づいて遊具等の更新を行っていく。指定管理者制度の運用開始後の評価を行い、今後の方向性を検討する。インフラ管理ボランティア制度をより積極的に推進していく。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
より快適に利用できるための公園の維持管理に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
より快適に利用できるための公園の維持管理に関することを協働により推進することを想定している。 ・公園内の花壇を活用するコミュニティガーデン事業を実施し、公園の活性化と地域コミュニティの醸成を図る。 ・貴重な自然の残る緑地等において、生物多様性の保全のため、植生管理の方針を維持管理や環境保全の活動をしている市民と共有し、植生管理に協働して取り組む。 ・公園清掃等のボランティア活動に対し、継続して支援を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の清掃、花壇の植付などの活動に対して支援を行う。 行政提案型協働事業として、コミュニティガーデン講座を実施する。 武蔵台緑地において、ガイドラインに基づく植生管理を、武蔵台緑地保全ボランティアの方々と協働で行う。 府中崖線西府町緑地、四谷樹林地周辺の緑地において、ボランティア団体と協働して植生管理を行う。 	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> 公園内の清掃、花壇の植付などの活動に対して支援を行った。 行政提案型協働事業として、コミュニティガーデン講座を実施した。 武蔵台緑地において、ガイドラインに基づく植生管理を、武蔵台緑地保全ボランティアの方々と協働で行った。 府中崖線西府町緑地、四谷樹林地周辺の緑地において、ボランティア団体と協働して植生管理を行った。 	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の清掃、花壇の植付などのインフラ管理ボランティアに対して支援を行う。 コミュニティガーデン講座を継続していくほか、講座終了後の受講生への支援を実施する。 武蔵台緑地における植生管理や崖線・樹林地などの生物多様性の確保について、ボランティア団体と連携して実施していく。 指定管理者制度の公園においても、市民協働への協力を求めている。